

#36 Explaining how much work you can reasonably achieve

Superior: おはようございます。

Student: おはようございます。

Superior: じゃあ、今日仕上げる製品の数は、ナインさんは「M」を 50個、

和田さんは「」を55個でいいですか。

Student: はい。

Superior: (電話) はい、対節です。いつもお世話になっております。はい、

あ一、その件ですね。

上げるのは薫塑じゃないですか。

Student: 確かに。

Superior: (電話)はい、では失礼いたします。

じゃあいさん、作業に取りかかって。ナインさん、50個ね。

Student: 対節さん、すみません。

堂力でやったとしても、その量は終わらないと思います。

「M」は形が複雑なので。

Superior: そうですか。じゃあ何値ぐらいならできそうですか。

Student: 40値ならできると思います。

Superior: じゃあ、 $\mathring{\neg}^* \stackrel{\circ}{\vdash} \mathring{\neg}$ のところは 40個でお願いします。

Student: はい、分かりました。